



スマートシティ ヘルスケア分野におけるご提案



I&H株式会社

阪神調剤グループ

I&Hは調剤薬局事業を中核とした関西地盤の総合ヘルスケア企業です

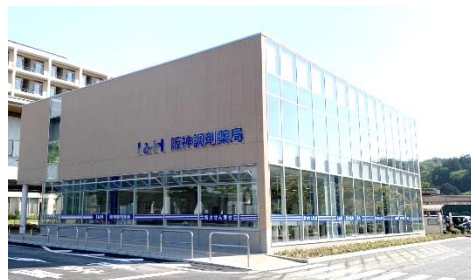
名称	I&H株式会社
創業	1976年9月
設立	2019年2月
資本金	41.2億円
売上高（連結）	1,224億円（2021年5月期）
従業員数	4,610人（2021年6月時点）
店舗数	609店舗（2022年5月期）
本社所在地	兵庫県芦屋市大榭町1-18

◆調剤薬局を全国に600店舗以上出店

1976年創業。神戸の1号店から始まり、全国にネットワークと信頼を広げてきた阪神調剤薬局。調剤薬局事業をサービス業と考え、処方箋に従ったお薬をお渡しするだけでなく、接客サービスの向上に努める一方で店舗常駐の栄養士による栄養相談をおこなうなど、調剤の枠にとどまらないサービスを次々と展開。地域連携強化薬局・健康サポート薬局を各地で展開。

◆総合ヘルスケア企業として関連事業を拡大

「誰のための医療か」を誠実に考え、本当に必要な医療と医薬が、必要とする人に必要なぶんだけ届けられる社会にしたい。患者様に最適な提案をすることで、心も体も健康になり、笑顔の人が増えていく。そのために、様々なアイデアや方法を提案していきたいというコンセプトの元、ヘルスケア関連でのグループ企業60社、従業員4600人の関西を地盤とした総合ヘルスケア企業。



I&Hのご紹介

健康に関わる多彩な周辺事業を展開しています。

◆介護・福祉事業

- ・ 訪問薬剤師サービス
- ・ 病院と連結したサービス付き高齢者住宅の運営
- ・ デイサービスなど複数の介護事業所を運営



◆人材派遣・紹介

- ・ 医療施設の欠員補助
- ・ 求人や採用の業務円滑化に貢献



◆クリニック開業・盛業支援

- ・ 230件以上の医療機関を支援
- ・ 医療モールの開発実績あり



◆PB商品の販売

- ・ 青汁や健康食品、美容サプリメント、PCR検査キット、マスクなど多様な商品を販売



◆コンビニ運営(ローソン)

- ・ OTCの販売拡大やセルフメディケーションの推進などを通して新しい健康習慣作りに貢献



◆カフェ事業(カフェ・ド・クリエ)

- ・ 病院内カフェや調剤併設型カフェなど
- ・ I&H管理栄養士監修メニューが全国の店舗で発売



これらの事業における経験やノウハウ、人材をバックボーンとして、関西地元の大手調剤薬局グループとしてのスケールメリットを活かし、自治体様や地元調剤薬局様等と共創し、スマートシティにおけるヘルスケア分野のコーディネータ企業として持続可能なサービスモデルづくりを目指します。

ヘルスケアに関わる課題とスマートシティでの活動目標

大阪府の課題

平均寿命と健康寿命の差は日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味し、その期間は、2016年では男性8.84年、女性12.35年となっている。今後さらに平均寿命が延びたとしても、健康寿命との差が拡大すれば、不健康な期間が増大することを意味し、医療費や介護費の増加により家計や社会保障費に大きな影響を及ぼす。健康寿命の延伸には、住民一人一人の健康への関心を高めるとともに、生活習慣の改善編の取り組み重要であり、厚生労働省による①健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進、②地域・保険者間の格差の解消に向け、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など「新たな手法」も活用した取り組みの推奨に基づき健康寿命の延伸と、医療費の削減を実現する。

活動目標

弊社グループのスケールメリットを發揮し、健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進、地域・保険者間の格差解消をデジタルとデータ連系の活用と、地元自治体と地元事業者との共創により実現する

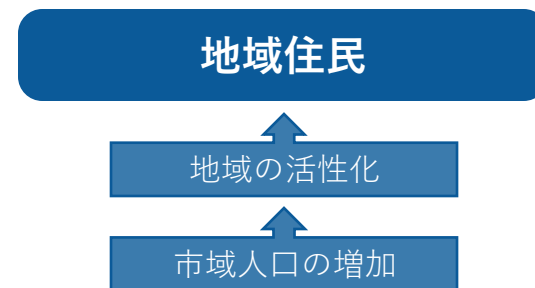
- デジタルを活用した、地理的要因に影響されない「ヘルスケア・サービスの提供」。
- 健康寿命の延伸⇒健康の増進と未病の改善、フレイル（虚弱）対応。
- データ連系による効率的でパーソナライズされたサービス提供。
- 健康状態などを可視化することによる健康リテラシーの向上。
- ITリテラシーにあまり影響されないサービス提供方法の構築。
- 参加を促す無償のサービスメニューと、継続的なサービス提供を実現するための利用者負担のサブスクリプションメニューのバランス良い提供。
- 地域のNPO、調剤薬局などのヘルスケア関連事業者、地元自治体関連部署との協業体制を構築することによる継続的なサービス提供体制の構築。



地理的要因に影響されない「ヘルスケア・サービス」の提供

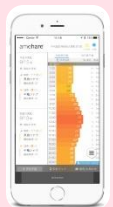


健康増進による医療費の軽減
効果的なサービス提供による収益性などの向上



デジタルとデータ連係を活用したヘルスケア促進モデルの展開

国保健診データ等との連携



豊能町での実装・実証

実装済みサービス

モビリティ予約

ヘルスケアポータル

電子処方箋

健康相談予約

栄養摂取管理

運動管理

電子お薬手帳

健康相談履歴

各種動画閲覧

服薬管理

実施計画サービス

パッケージ化

データ活用

自治体

I & H

地元調剤薬局

健康啓発
住民サービス

システム投資
データ管理

データ活用
アフターフォロー

共創体制で地元住民の健康を見守る

サービスメニューのブラッシュアップ

効果検証

ヘルスケアイベントの実施
健康相談・健康測定

各自治体

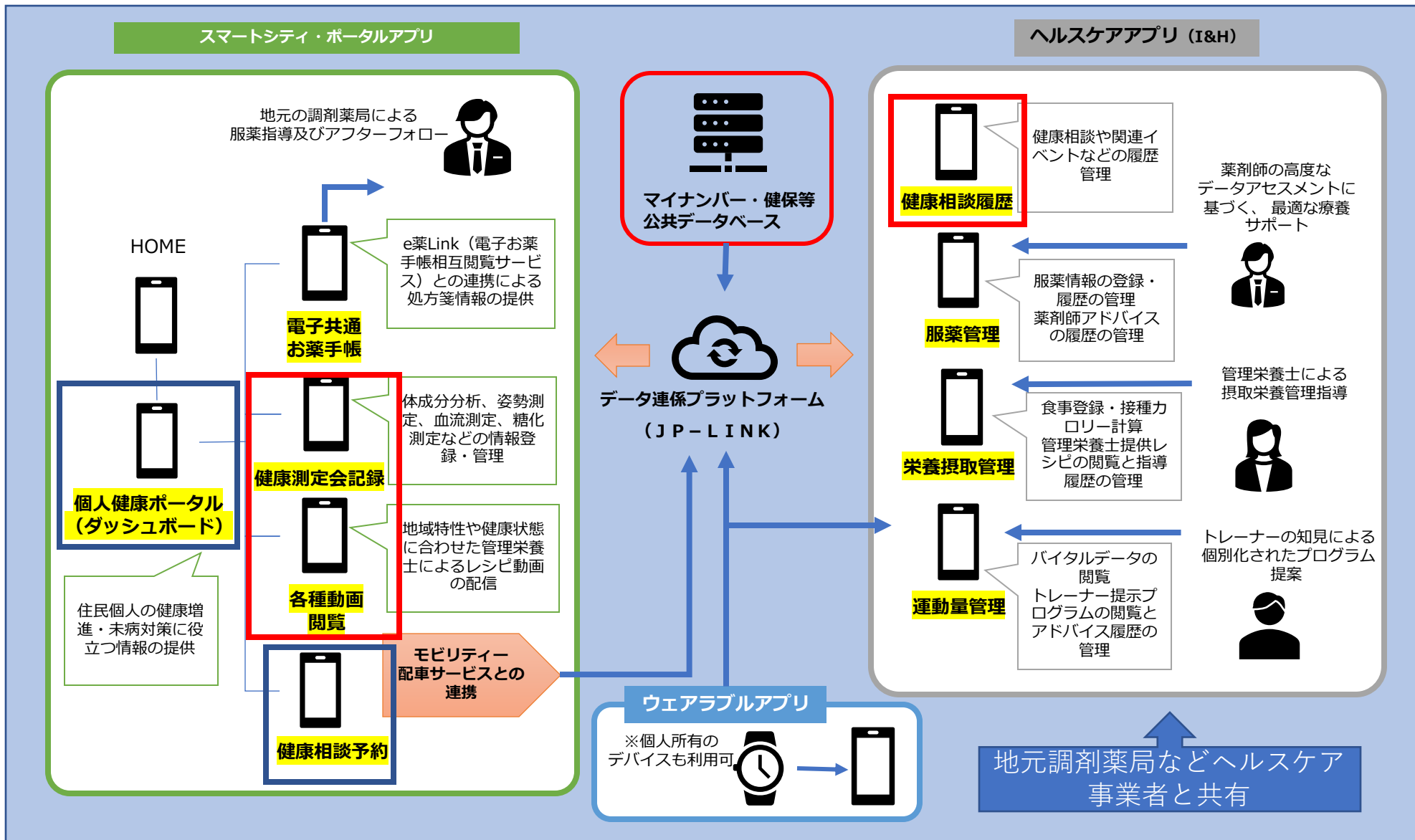
自治体ごとの優先課題の検討

サービスインのスキーム調整

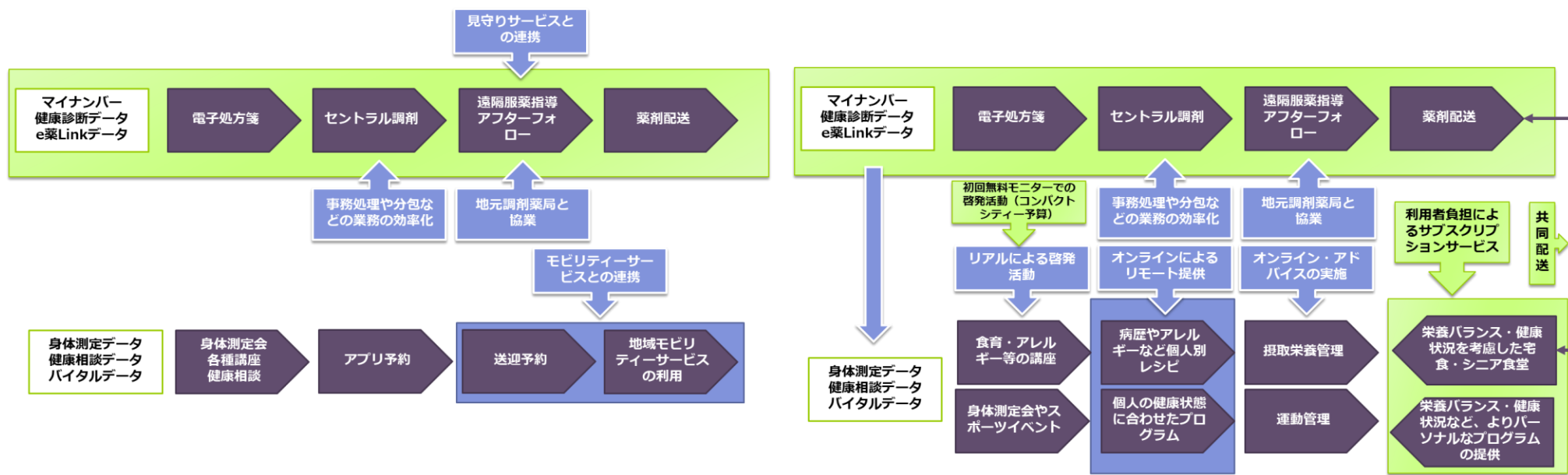
効率的・効果的な住民サービスの提供

健康寿命延伸の実現
社会保障費等の削減

デジタルとデータ連係を活用したヘルスケア促進モデル



ヘルスケア促進モデル



健康寿命延伸に向けた、様々な個人のヘルスケアに関わるデータを連携し、利便性の向上と個々人の状況に合わせた啓発活動やサービス提供を実現するとともに、地理的要因に左右されないサービス提供をデジタルの有効活用と、地元自治体・地元ヘルスケア関連事業者との連携により提供する

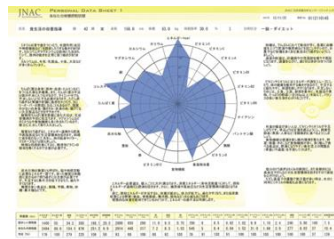
ヘルスケア促進モデルのサービスメニュー

【健康相談予約/履歴・健康測定会記録】

- 健康相談予約アプリの活用で、健康相談や各種健康イベントの予約とともに、将来的にはモビリティサービスとの連携より、利便性を向上。
- ウェアラブルデバイスを活用したバイタルデータとの連携により、パーソナライズされた個々人の健康状態を可視化することにより、健康意識を向上。
- 地元自治体・地元調剤薬局対とのデータ共有により、システム投資を必要とせず、スムーズな情報共有を実現。
- 履歴情報を元により質の高い服薬指導やアフターケアが可能。
- 地域と連携してヘルスリテラシー向上に向けた啓発活動の一環として、健康測定会などを開催。【体成分分析、姿勢測定、血流測定、糖化測定など】また、これらのデータも個人ヘルスケアデータとして一元管理

【栄養摂取管理】

- データ連携されたPHD（パーソナル・ヘルスケア・データ）を基に、管理栄養士がパーソナル栄養プログラム、生活背景や疾患の状況に応じてより個別化された栄養プログラムを提供。【進捗管理をオンラインで実施し、その履歴をPHDにフィードバック。】
- 摂取栄養履歴・健康測定データ・ウェアラブルデバイスによるバイタルデータを管理栄養士が総合分析。
- 会員専用のレシピ動画や献立配布を実施。
- データ連携されたPHDを基に、管理栄養士が監修した食事メニューを会員食卓（シニアダイニング）で囲む事によって、コミュニケーションを促進するとともに、健康増進・慢性疾患・成人病の予防効果を期待。【配食サービスで同様のメニューを提供し、見守りにも。】



ヘルスケア促進モデルのサービスメニュー

【運動量管理】

- データ連携されたPHDを基に、専門知識を有するトレーナーが個人に合わせた健康増進パーソナルフィットネスを作成し、オンライン面談等でフォローアップ。【履歴データをPHDにフィードバックすることにより、フレイル対策、未病・予防効果、進捗を管理。】
- ウェアラブルデバイスによるバイタルデータ・運動データにより最適な運動量を管理。【パーソナルフィットネスとセットでウェアラブルデバイスを貸与。】
- 継続性を高めるとともに、トライアル参加による会員の獲得に向けて、月例のフィットネスイベントの開催。【フィットネスと食事のコラボイベント、栄養教室、口腔体操、健康増進支援ロボット体験など】
- 会員専用各種コンテンツを提供。

【電子共通お薬手帳・服薬管理】

- オンラインで、受診から服薬指導、処方薬の配送までを完結し、地理的要因に左右されない、安心できる療養と提供。【必要に応じて対面指導を実施。】
- 電子共通お薬手帳により、処方情報・服薬指導歴データ・アレルギー歴などを管理し、地元調剤薬局と協業。
- 処方通りの服薬が来ているか服薬管理、残薬を管理。【IoTやテレビでのプッシュ通知を活用。】
- 電子処方箋の利用、ドローンによる処方薬の配送の実証実験の実施。

ヘルスケア・サービスの取り組み状況

今まであまり測定したことがない自身の健康状態をデータで目にし、参加者からは好評を得ています。

健康測定会の開催



体成分分析、姿勢測定、血流測定、糖化測定を体験することによって、自身の健康状態を可視化し、健康への関心を高める

役場や地元調剤薬局との協業が進んでいます。

健康相談予約アプリの使い方説明会の開催

健康相談のニーズ確認や住民の健康への取り組み状況の確認、住民との人間関係の構築のために実施

健康相談会の実施

健康測定や健診データ・服薬履歴などをもとに、個人の健康への不安などを相談を受け、その履歴と健康状態をトレースしながら未病・予防、健康寿命の延伸寄与する

住民への啓発活動やリアルでのサービス提供を通じて、地域の状況に合わせた効率的で効果的なヘルスケアサービスの提供に向けて、各自治体様におけるヘルスケアに関連取り組みに頑張っ参ります。



**スマートシティのヘルスケアサービスを通じて、
心と体の健康が人の笑顔の源泉となる社会のために
貢献出来るよう活動します。**

